

ワイレス画面転送装置



4-850-0531 AS-201-U

株式会社 内田洋行

取扱説明書

wivia サポートサイト

<https://www.uchida.co.jp/wivia/>

はじめに

本書には本機の基本的な使い方が記載されています。ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。また、いつでもお読みにになれるよう大切に保管してください。

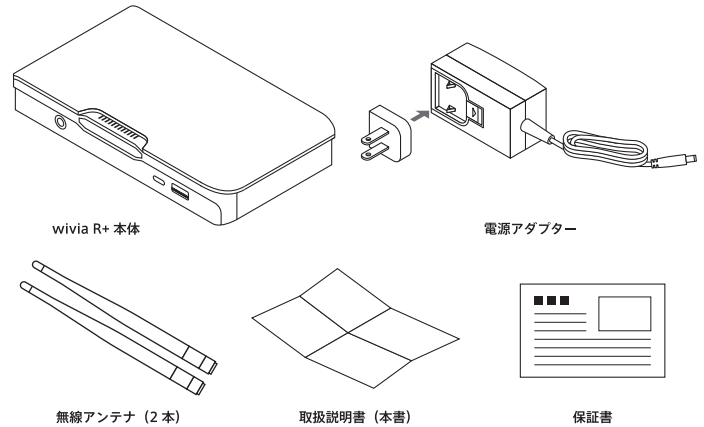
詳しい使い方や設定方法については、サポートサイトに掲載のマニュアルをお読みください。

本書に掲載の画面は実際の画面と異なることがあります。また、バージョンアップにより仕様を変更することがあります。

本機をはじめてお使いになる際は、管理者画面のログイン時やアプリケーションのインストール時に表示される『使用許諾契約』をよくお読みのうえ、各条項に同意してください。お客様が本機やアプリケーションを使用した場合は、使用許諾契約に同意されたものとみなします。

wivia は株式会社内田洋行の登録商標です。本書に記載の他社製品名は一般に各社の商標または登録商標です。本書では™・®などは記載していません。

内容物



安全上・使用上のご注意

本書では、以下の図記号を使用しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度について

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類について

禁止 (してはいけないこと) を示します。

指示 指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示します。

■設置および保管に関して

警告

定格外の電源を使用しないでください
定格範囲外の電源に接続することで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

動作環境範囲外で本機を使用しないでください
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

直射日光のあたる場所や暖房器具の近くで本機を使用しないでください
本機が過熱することで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

本機の近くに液体が入った容器を置かないでください
本機に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

温度変化の激しい場所で本機を使用しないでください
本機が加熱することで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

電源コードを束ねたまま使用しないでください
電源コードまたは電源アダプターが加熱することで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

コネクターや接続端子に異物などが混入しているときは取り除いてください
コネクターや接続端子に異物が混入した状態で本機を取り付けることで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■取り扱いに関して

警告

本機を重ねて設置しないでください
重ねて設置することで本機が加熱し、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

本機を湿気やほこりの多いところに保管しないでください
湿気やほこりが混入することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

本機を分解、改造しないでください
本機を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

異常 (異臭や過度の発熱) に気づいた場合は電源を切ってください
故障や異常 (異臭や過度の発熱) に気づいた場合は、電源アダプター (PoE 給電の場合は LAN ケーブル) を抜いてヘルプデスクにご相談ください。

注意

振動の多い場所や不安定な場所で本機を使用しないでください
振動の多い場所や不安定な場所で本機を使用することで、落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

コネクターや接続端子には触れないでください
本機は精密機器です。静電気の影響によって、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本機を取り付ける際は、コネクターや接続端子に触れないよう注意してください。

落下や衝撃を与えないでください
本機に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

定期的な点検やお手入れを行ってください
本機を長期間運用する場合は、動作状況や設置環境を定期的にご確認ください。

■無線・電波に関して

注意

2.4GHz 帯 Wi-Fi について
本機が使用する 2.4GHz 帯の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の免許を要する構内無線局、アマチュア無線局、免許不要の特定小電力無線局などが運用されています。本機を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機とこれらの無線局との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用チャンネルまたは使用場所を変更するか、本機の無線機能を停止してください。

5GHz 帯 Wi-Fi について
本機が使用する 5GHz 帯の周波数帯 (W52/36~48ch) は、電波法により屋外での使用が禁じられていますので、屋内でのみお使いください。

IEEE802.11a/n/ac			
JS2	WS2	WS3	WS6

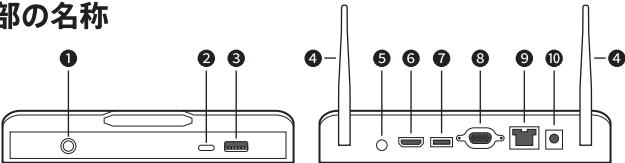
■Wi-Fi 機能ご使用時におけるセキュリティについて

Wi-Fi では、電波を利用して情報のやり取りを行うため、セキュリティが不十分な場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ **通信内容を盗み見られる**
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メール内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ **不正に侵入される**
悪意ある第三者が無断で個人や不十分な組織内のネットワークにアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされる可能性があります。

本機をご使用になる前に、マニュアルのネットワークに関する設定の項目をよくお読みになり、セキュリティに関する適切な設定を行ってください。なお、Wi-Fi の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあります。本製品はこれらのリスクをご理解のうえでご使用ください。
セキュリティ対策を施さず、あるいは技術的にやむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

各部の名称



- ① 電源ボタン ② USB 3.0 Type-C 端子 ③ USB 3.0 Type-A 端子
④ 無線アンテナ ⑤ 音声出力端子 ⑥ HDMI 出力端子 ⑦ USB 2.0 Type-A 端子
⑧ VGA 出力端子 ⑨ 有線 LAN 端子 ⑩ 電源アダプター端子

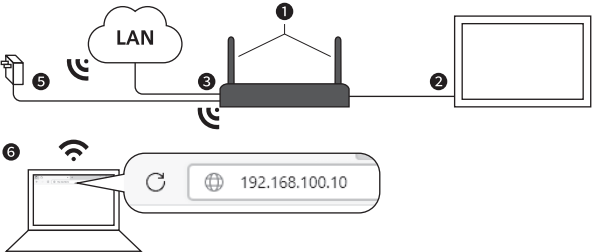
電源ボタンの機能

- ・ 約 1 秒間押すと、電源をオン/オフします。（設定でスタンバイに変更することもできます。）
- ・ 約 8 秒間押し続けると、設定が初期値にリセットされます。

電源ボタンの LED の動作

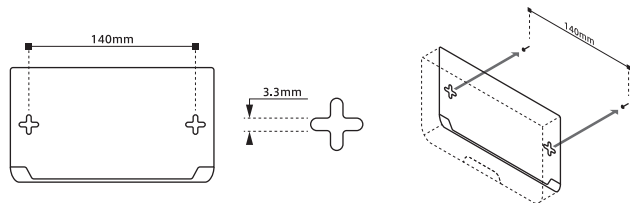
- ・ 青く点灯：電源オン状態
- ・ 消灯：電源オフ状態
- ・ 赤く点灯：スタンバイ状態
- ・ 青と赤が交互に点灯：ファームウェアアップデート中

- ① Wi-Fi 機能を使用する場合は、付属の無線アンテナを取り付けます。
- ② 本機と表示装置を HDMI ケーブルで接続し、表示装置の電源を入れます。
- ③ インターネットに接続できる LAN ケーブルを本機に接続します。
- ④ 必要に応じて音響機器、操作機器、記憶媒体を本機に接続します。
- ⑤ 付属の電源アダプターを本機に接続すると、電源が入ります。
- ⑥ 表示装置に待機画面が表示されたら、端末を本機の Wi-Fi か、本機と同じネットワークに接続し、ブラウザを起動してアドレスバーに本機の IP アドレスを入力してアクセスします。（本機の Wi-Fi のパスワードの初期値は wiviawivia です。）



壁掛けで設置する場合

- ① 頭部の径が 3.3～6 mm、ねじ部の径が 3.3 mm 未満のねじを 2 本、140 mm 間隔で壁面に取り付けます。ねじの頭部を壁面から数 mm 浮かせておきます。
- ② 本機の背面にある十字型の取付穴をねじの頭部に引っ掛けます。



高所や閉所に設置する場合は、使用後やトラブルシュート時に本機の電源を切れるように中間スイッチをご用意ください。

■その他のご注意

- ・ **本機は日本国内でご使用ください**
本機は日本の国内法のもとで使用可能な製品です。外国での使用は想定されていません。外国で本機の故障、または本機に起因する事故が生じても、当社はその責任を負いかねます。また、日本国内でご利用の際も、各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。
- ・ **お使いの端末のデータのバックアップを実施してください**
本機のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、当社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
- ・ **本機の使用用途について**
本機を高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、フェールセーフ設計や冗長設計などの措置を講じうえてご使用ください。また、人命に関わる装置や社会インフラなど、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途には、本機を使用しないでください。
- ・ **VCCI 協会による妨害波自主規制措置に基づく表示**
この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- ・ **廃棄方法について**
本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。

設置と準備

本機に接続する機器・設備など

- ・ 表示装置（ディスプレイ、プロジェクターなど）
- ・ 映像ケーブル（HDMI または VGA）
（表示装置によっては変換コネクターなどが必要です）
- ・ LAN ケーブル
- ・ 電源コンセント（PoE 給電の場合は省略可能）
- ・ 設定作業用端末（Windows、Mac、Chromebook など）

設置環境・使い方によって必要なもの

- ・ 音響装置（スピーカー、アンプなど）
- ・ 音声ケーブル
- ・ 操作機器（マウス、タッチパネルなど）
- ・ USB ケーブル（操作機器との接続に必要な場合）
- ・ 記憶媒体（USB メモリー）

- ⑦ 本機の Web ページが表示されたら、ページ右上の歯車アイコンから管理者としてログインします。（管理者パスワードの初期値は admin です。）



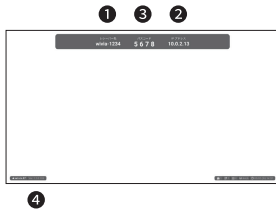
- ⑧ “管理” ページでファームウェアアップデートを確認し、最新版を適用します。
- ⑨ アップデートが完了したら、その他の必要な設定を行います。

詳しくは、サポートサイトに掲載のマニュアルをお読みください。

仕様

対応 OS	Windows、macOS、iOS/iPadOS、Android、Chrome OS
映像出力	HDMI 最大 3840×2160、VGA 最大 1920×1080
音声出力	HDMI、ステレオミニ（3.5mm）
有線 LAN	10/100/1000 Mbps、RJ-45 端子、PoE 受電対応
Wi-Fi	IEEE 802.11ac（Wi-Fi 5）2.4GHz/5GHz 切替利用 AP モード：WPA2-PSK（AES）対応、8 台接続可能 子機モード：WPA2-PSK/802.1x 対応
USB	USB 2.0 Type-A x 1、USB 3.0 Type-A x 1、USB 3.0 Type-C x 1
電源	AC 100V 0.8A、DC 12V 2A 24W（電源アダプター）、PoE 48V 0.32A
外形寸法	170 x 105 x 31 mm（W x D x H、アンテナ部を除く）
質量	約 500 g（電源アダプター・無線アンテナ含め約 660 g）
適合規格	PSE（電気用品安全法）、技適（電波法、電気通信事業法）、VCCI（クラス B）

レシーバーの画面の見かた



- ① レシーバー名
- ② IP アドレス
- ③ パスコード
…端末から接続する際に確認します。
- ④ ファームウェアのバージョン
…アップデートやお問い合わせの際に確認します。

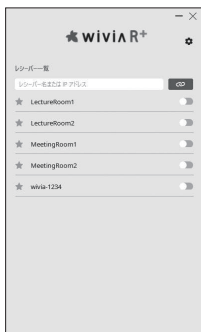
対応 OS

- ・ Windows
- ・ macOS (Mac)
- ・ iPadOS (iPad) 、iOS (iPhone)
- ・ Chrome OS (Chromebook)
- ・ Android

詳しい対応バージョンや制限事項などは、サポートサイトでご確認ください。
バージョンアップにより、画面や操作が本書と異なることがあります。

Windows・Mac の場合

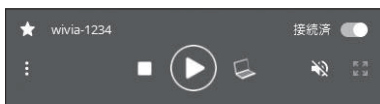
初めてお使いの際は、サポートサイトまたは本機の IP アドレスに Web ブラウザーでアクセスし、wivia R+ アプリをダウンロードし、必要に応じてインストールします。



- ① wivia R+ アプリを起動します。
 - ② レシーバー一覧に目的のレシーバー名が表示されていれば、その右側のスイッチをオンにして接続します。
 - ③ 目的のレシーバー名が表示されない場合は、入力欄にレシーバーの IP アドレスを入力して接続ボタンを押します。
- ・ レシーバーが見つからない場合は、端末がレシーバーのあるネットワークに接続されているか確認します。



- ④ パスコードの入力画面が表示された場合は、レシーバー側の画面に表示される 4 桁の数字を入力します。



- ⑤ 接続が完了したら、▶ボタンで発表を開始できます。
- ・ よく使うレシーバーは、左側の★ボタンを押すと、次回から優先的に表示されます。

Mac で初めてお使いの際は、以下の手順も必要です。

- ① wivia R+ アプリと同じディスクイメージ内にある BlackHole のインストールパッケージを実行し、音声ドライバーをインストールします。
- ② システム環境設定の“セキュリティとプライバシー”の“プライバシー”タブで、“画面収録”、“マイク”、“アクセシビリティ”のアクセスを wivia R+ アプリに許可します。



BlackHole-vx.x.x.pkg
xx KB

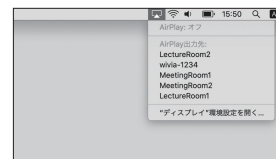


Windows でブラウザーを使う場合



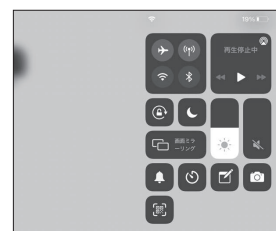
- ① ブラウザー（Google Chrome）を起動し、アドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。
 - ② 本機の Web ページが表示されたら、“ブラウザーで発表”の開始ボタンを押します。
 - ③ ユーザー名を必要に応じて変更し、パスコードが表示されている場合は入力し、“発表開始”
 - ④ ボタンを押します。
発表する画面、ウィンドウ、またはタブを選択すると発表が開始されます。
- ・ 発表を終了するには、発表を開始した際のタブを閉じます。

Mac で AirPlay を使う場合



- ① メニューバーのコントロールセンターから画面ミラーリングを選択するか、メニューバーの AirPlay アイコンを選択します。
 - ② 一覧から目的のレシーバー名を選択します。
 - ③ パスコードの入力画面が表示された場合は、レシーバー側の画面に表示される 4 桁の数字を入力すると発表が開始されます。
- ・ 発表を終了するには、同じ要領でもう一度レシーバー名を選択するか、“AirPlay を停止”を選択します。

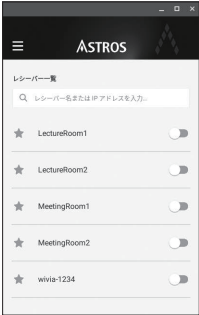
iPad・iPhone の場合



- ① 画面の右上隅を下にスワイプするか、画面の下端を上へスワイプして、コントロールセンターを表示します。
 - ② “画面ミラーリング”をタップします。
 - ③ 一覧から目的のレシーバー名を選択します。
 - ④ パスコードの入力画面が表示された場合は、レシーバー側の画面に表示される 4 桁の数字を入力すると発表が開始されます。
- ・ 発表を終了するには、同じ要領で“ミラーリングを停止”を選択します。

Android の場合

初めてお使いの際は、Play ストアアプリで ASTROS App アプリをインストールします。



- ⑤ 接続が完了したら、▶ボタンで発表を開始できます。
- ・よく使うレシーバーは、左側の★ボタンを押すと、次回から優先的に表示されます。

- ① ASTROS App アプリを起動します。
- ② レシーバー一覧に目的のレシーバー名が表示されていれば、その右側のスイッチをオンにして接続します。
- ③ 目的のレシーバー名が表示されない場合は、入力欄にレシーバーの IP アドレスを入力して接続ボタンを押します。
- ・レシーバーが見つからない場合は、端末がレシーバーのあるネットワークに接続されているか確認します。
- ④ パスコードの入力画面が表示された場合は、レシーバー側の画面に表示される 4 桁の数字を入力します。

Android で Google Cast を使う場合



- ① 画面上端を下に2回スワイプし、クイック設定を表示します。
- ② “画面のキャスト”を選択します。
- ③ 一覧から目的のレシーバー名を選択すると発表が開始されます。
- ・発表を終了するには、同じ要領で “接続を解除” を選択します。
- ・クイック設定に “画面のキャスト” が表示されない場合は、編集アイコンから追加できます。
- ・クイック設定や “画面のキャスト” がいない場合は設定アプリで “キャスト” を検索します。

Chromebook の場合



- ① 画面右下のステータス領域を押し、 “キャスト” を押します。
- ② 一覧から目的のレシーバー名を選択すると発表が開始されます。
- ・発表を終了するには、ステータス領域を押し、通知に表示されているレシーバー名の “中止” を選択します。

故障かな？と思ったら

設置・設定について

- ・表示装置に映像が表示されない
HDMI ケーブルが正しく接続され、本機の LED が青色に点灯していることをご確認ください。
表示装置の電源・入力切換を確認し、本機の電源を入れ直してください。 VGA ケーブルで出力するには、あらかじめ本機の設定変更が必要です。
- ・アプリをインストールできない
端末によっては、インストールに管理者権限が必要なことがあります。Windows の場合は、インストーラー形式の代わりに実行ファイル形式（インストール不要版）のアプリをお使いください。
- ・ネットワークに接続できない
ネットワークによっては、接続に認証や登録（MAC アドレスなど）が必要な場合があります。Wi-Fi 子機として接続する場合にも、設定作業時には有線 LAN 接続が必要です。
- ・本機の Web ページ（管理者設定）にアクセスできない
端末やブラウザのプロキシやセキュリティの設定、ネットワークの構成をご確認ください。
本機の Web ページは自己署名の SSL 証明書を使用しており、ブラウザが警告を表示することがあります。アクセス先が正しいことを確認のうえ、警告画面の詳細情報からアクセスを続行してください。

使用中の動作について

- ・端末から本機に接続できない
本機の LED が青色に点灯しており、端末が本機と同じネットワーク（または本機が発する Wi-Fi）に接続されていることをご確認ください。本機の Wi-Fi パスワードの初期値は wiviawivia ですが、接続できない場合は管理者にご確認ください。アプリをお使いの場合は、アプリ上で本機の IP アドレスまたはレシーバー名を手動入力してください。
アプリ以外の方法で接続するには、ネットワーク側で端末と本機との相互通信（マルチキャストやブロードキャストを含む）が遮断されていないかご確認ください。
- ・端末から本機に発表できない
すでに上限数の端末が発表中の場合は発表を開始できません。いずれかの発表者が停止してから再度操作してください。複数の端末で同時に操作を行った場合などはエラーになることがあります。少し時間をおいて再度操作してください。
- ・音声が出力されない
表示装置や音響装置の電源・音量、アプリ上のミュートボタンをご確認ください。ウィンドウを指定して発表中の場合、ブラウザで発表中の場合と、Android 版のアプリでは、音声は出力されません。Mac 版のアプリで音声を出力するには、あらかじめドライバーのインストールが必要です。なお、OS を問わず、端末の仕様によっては音声を送信できないことがあります。
- ・映像・音声が遅延したりコマ落ちする、接続が途中で切れる
本機はアプリでキャプチャーした映像・音声データをネットワークを介して転送するため、端末やネットワークの状況により遅延・コマ落ちや切断が発生することがあります。また、高解像度の画面や動画などのデータ量の大きい画面の発表時や、同時に多数の接続が行われている場合も、遅延・コマ落ちや切断が発生しやすくなります。正確性や安定性が重要な場面では、端末を表示装置に直接接続してください。
- ・本機やアプリの動作が不安定になる
長時間動作させた場合や、使用のしかたによっては動作が不安定になることがあります。アプリを一度終了し、本機の電源を入れ直してください。また、ファームウェアやアプリのアップデートが提供されていないかご確認ください。

wivia サポートサイト

詳しい機能や設定方法が記載されたマニュアル、最新版のアプリケーションやファームウェア、各種サポート情報などが掲載されています。定期的にご確認ください。

<https://www.uchida.co.jp/wivia/>



wivia ヘルプデスク

本書やマニュアル、サポートサイトの情報で問題が解決しない場合は、こちらのヘルプデスクまでご相談ください。
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に保証書と以下の情報をご用意ください。

- 本機の機種名（wivia R+ または AS-201-U）と製造番号
- お使いの端末の機種、OS の種類やバージョン、ネットワーク環境
- 本機のファームウェア、端末のアプリケーションのバージョン
- ご相談内容（発生した問題、発生条件や再現手順など）

・教育機関などで専用のヘルプデスクのあるお客様は、先にそちらへご相談ください。

フリーダイヤル **0120-550-956**（平日 9～17時）※当社休業日は除きます

つながらない場合 **047-700-8245**（通話料がかかります）

メールアドレス **wivia-help@esco.co.jp**